

「サポートセンター・ロンド」の現在とこれから」説明会開催

1月19日、20日に「サポートセンター・ロンド」の現在とこれから」というテーマで説明会を開きました。2日あわせて、会員さんヘルパーさんあわせて75名の方の参加がありました。

ありがとうございます。当日、ご事情があつてこれなかった方のために、この場を借りてご報告します。

説明会を開いたのは

サポートセンター・ロンドは、10年目を迎えて、ケアホーム・短期入所・生活介護施設の検討、それから新たなサポートセンターが必要になるなど大きな動きが出てきました。

今まで制度を駆使して支援を広げてきましたが、それはみんなで協働して一歩一歩積み上げてきた成果です。年度の途中ではありますが、これからのロンドを運営していくにあたって会員さんもヘルパーもみんな

で共通に現状を理解をし今後のロンド一緒に考えていただくための「説明会」を開きました。

①サポートセンター・ロンド2号館の検討委員会の立ち上げについて

サポートセンター・ロンドが、現在の場所に設立して8年が経ちます。このセンターは、大家さんが基本を建て、お風呂場やトイレ等の特別仕様はロンドがもつというありがたい条件で貸していただいたものです。できた当初、こんなに広いセンターを使いこなせるものかと思つたのですが…。

いまや、ロンドは、午前中の児童デイサービス、午後の小学生まんぼう、その後の毎日クラブ、時には短期入所の宿泊者も加わって、毎日が大盛況。もうこれ以上は、にっちもさっちも行かないところまで、来てしまいました。

その上に、今までご好意に甘えて、

水光熱費のみで期限を延長して貸していた生田の「ほっとすてーしょんかもめ」も今年の9月には、お返しすることになりました。

このかもめがあつたからこそ始められた小学生の放課後支援です。新たなサポートの場がどうしても必要になってきました。

そこで、ロンドを仲介してくださった不動産屋さんにご相談したところ、今のロンドと同じ条件で、新しいセンターを建てて貸してもいいといってくださいました。サポートセンター・ロンド2号館が新たにできることになりました。1月からどんなセンターにするか検討委員会を始めます。

現在のサポートセンター・ロンドは、本部事務所とし、ヘルパーステーションの事務所・相談室・送迎部・短期入所を行います。

サポートセンター・ロンド2号館は、児童デイサービスや放課後支援

などの日中一時支援事業、日中短期入所等日中のサポートを行う場とする予定です。

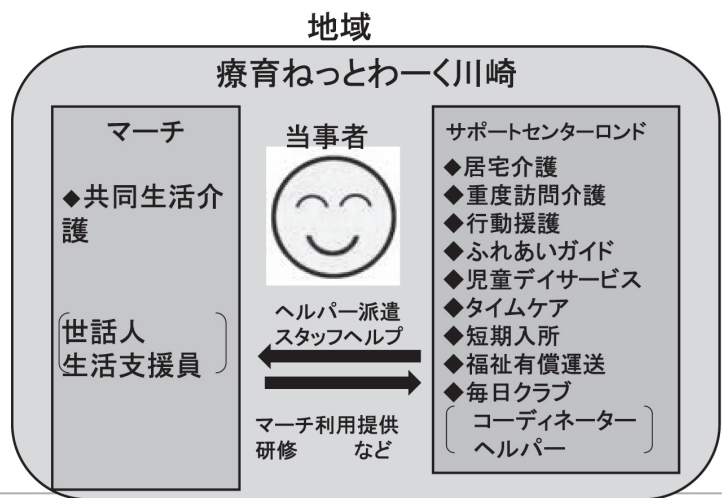
②ケアホーム・マーチについて

3月から、ケアホーム「マーチ」の入居が始まります。

マーチは、サポートセンター・ロンドから、歩いて1分ほどの場所を始めます。住宅としての基本は大家さんが持ち、バリアフリーの内装やリフトの設置は、サポートセンター・ロンドが負担し、月極めの賃貸契約を済ませました。エレベーターの設置をしたので、川崎市からのバリアフリー施工の補助金60万円が付きましました。

ケアホームは、建物も運営も独立した事業になります。しかし療育ねとわーく川崎の今までの事業と同じように、みんなで協力し合いながら進めていきたいと思っています。

お互い助け合っていく仕組み



③ロンドの運営について

ロンドの運営費は人件費率が、75%です。(一般的には65%)

これは、給与が高いからではありません。給与が厚いだけ手厚い支援をと、支援者の配置をしてきた結果です。

例えば、児童デイサービスの人員配置の国基準は10・2です。とてもこれでは対応ができません。児童デイサービスには医療的ケアが必要な子どもたちも含めて様々な障害の子

どもたちが通ってきます。ひとりひとりの特性に合わせた個別での対応が必要です。放課後の小学生まんぼうも、安全面を考え、外遊びの時には、マンツーマンでサポートをつけています。更に、ハイキングクラブ、ダンス等の外出では、ひとりずつ担当するヘルパーの他に、発作時などを考慮し、全体把握の職員2〜3名と、すぐ動けるドライバーが着いて行動しています。クラブで行う入浴は利用者1人に2人のヘルパーで担当しています。

ロンドが始まってから、私たちは、利用者のニーズに根ざした支援を目指してきました。しかし、これからの10年20年を考えると、支援者の育成も重要な課題になります。介護する人も大切にできる事業所を目指していきたいと考えています。



短期入所について

小さいお子さんの短期入所の利用について、お問い合わせが2件ありました。お二人とも他の入所施設でお断りされたということでした。短期入所、中でも子どもたちの短期入所は、今とても厳しい状況だと思います。自立支援法以前は、児童相談所が市外施設も含めて施設紹介と斡旋を行っていました。それが、自立支援法からは契約制度になり、福祉事務所等での事業所紹介のみとなり、お母さんたちは自分で施設を探さなくてはならなくなりました。

そんな厳しい中で、ロンドの短期入所の利用を期待されたのはよく分かります。

でも、申し訳ありませんが、今年度いっぱい、今までロンドでの宿泊経験のある方で、緊急性の高い方に限定させていただきます。短期入所は、サポートセンター・ロンドの和室で行います。設置基準にはありますが、病院や施設で行う短期入所とは違い、医師や看護師の常駐はできません。また、設備や人員が整った入所施設の中での空床型ではなく、短期入所の方のみが宿泊する単独型となります。宿泊できる人材を短期入所のために別に確保しなくてはなりません。今年度中は、宿泊できる支援者の育

成に取り組みたいと思います。小さいお子さんの受け入れは、来年度以降の検討課題とさせていただきます。*ロンドでの短期入所を希望される方は、利用される前に、提携医療機関であるソレイユ川崎の受診をお願いします。

日中短期入所について

日中に緊急で見たいとお問い合わせも、5件ありました。

日曜日に、出かける用事ができた。お通夜があるので…などです。1月からは、日中短期入所で受け入れができるようになりました。日中短期入所とは、宿泊を伴わない短期入所です。利用を希望される方は、福祉事務所に、地域生活支援事業の日中一時支援(日中短期入所)を申請し、支給を受ける必要があります。

通常は月7日までの利用が可能です。ロンドの場合は、小学生の放課後支援や毎日クラブは、今まで通り日中一時支援(障害児者一時預かり)とし、緊急な利用や土日祝日の利用については、日中短期入所に対応することになります。利用を希望される方は、福祉事務所に申請してください。

卯年の年頭所感

理事長 江川文誠

10年目を越え、NPO法人としても兄貴分、姉貴分になった療育ねっとわーく川崎では、卯年にちなんでまた新たな飛躍を予定している。

児童デイサービスや事務所機能を拡充するために、サポートセンター Rond2 を現在の Rond1 近く開設する。念願のケアホーム第一号の建築も終わり3月開始に向かっていま急ピッチで準備がすすめられている。

振り返ってみるともうすでに20を超える事業をきりもりしていることになる。その一つ一つが利用者や職員の想いが込められた手作り感がいっぱいであるところが療育ねっとわーく川崎の最大の長所である。

もうひとつそれらの事業には共通点がある、それは事業としてなかなか厳しい経営基盤であるということである。NPO法人（特定非営利法人）だからそれでいいじゃないかともいえるが、最前線ばかりでなく裏方をささえる事務経費や車両の維持も費用がかかる。だから手持ちの預金も年間の事業費に比べるとやや心もとないところがある。

しかし、いつも現場でニーズに接しているスタッフからは、新たな資金を必要とする新しい事業の希望が続きから次へと出される。

少ないお財布の底をながめながら、目の前にいるみんながそんなに目を輝かせてやりたいといっているのならしょうがない、ここからなんとか出そうか、という気にさせることが事務局スタッフの最も得意とする技である。

しかるに、今年もうさぎと一緒に跳ねることにする。ポケットの財布が軽い分、余計に高く跳べるような気がする。

療ね 事務局便り



明日香のたまてばこ

今日は。明けましておめでとうございませう。今年も、たまてばこを書いて行くと思うので、よろしくお願ひします。

それにしても、寒いですね。私にとつて、一番辛い季節がやって来ました。12月いっぱい、PTが三ヶ月間の休止期間に入りました。私の体は、急激な気温変化に弱く、その時期が一番辛い時期なのです。休止期間も先生達と悩んだ結果、1月はもう寒くなりきつていられるだろうという事で、1月からにしました。しかし、私達の考えはまんまとはずれてしまったのです……。

年が明けてから急に寒くなり、体がついて行かず緊張が自分でコントロールできない程、とても強くなつてしまいました。こうなつてしまつと、もうどうする事もできません!!! 本当に辛いです。とりあえず、家でできる緊張を抜く方法をするしかありません。ただ願ひのは、この寒さである程度いつて欲しいという事です。慣れれば安定する……今年も4日に、箱根へ初詣へ行つ

て来ました。やはり、山の上なのでとても寒かったです。箱根神社は車で上まで上げてくれるので、車椅子でも行けるのです。一番問題になるのが、トイレですよ。神社には車椅子トイレは、はっきり言ってありません。ですが、周りにだいたい車椅子トイレが増えています。私には何とか立てるのでも、母さんと二人で頑張つて様式トイレで頑張りました。一つぐら車椅子トイレを作つて頂けると嬉しいのです……。

今年一年、元気で過ごせませうに!!!とお祈りをして、新しいお守りを買ひ帰つて来ました。マイペースで頑張りたいと思つています。

2月上旬に、この前見学に行つたホームへ体験宿泊します。どうなるか不安ですが、経験で頑張つて来ます。終わつたら、みなさんにご報告しますね。今年一年がみなさんにとつて、良い年でありませうに!!!!!!

鈴木明日香

編集後記

今年もよろしくお願ひします。
「私たちの望む医療的ケア」法制化目前、緊急全国集会」に参加しました。江川先生をはじめ川口さん下川さんたちの思いが、全国に伝わつて、年末の忙しい時期にもかかわらず、遠くからもたくさんの方が参加されていまして。その熱意は、参加された厚生労働省の方々にも伝わつたように思います。私が、医療的ケアのことを考えるようになったのは、もう25年以上前のことになりました。担当していた小学部のまーくんが、体調の悪化で入院し経管栄養に。回復していざ退院となつた時、家族でもできるケアを考えようと、病棟の看護師さんと養護学校の職員と一緒に、ケアマニュアルを作りました。まーくんを家でいつも見ていたのは、おばあちゃんでしたので、誰が見ても分かるものにしようと、イラストが得意な先生が、吸引や注入の場面など、細かな手技も分かるように描いてくれました。栄養がいきわたるようになったまーくんは、通学もできるほどに回復しました。それで、学校でもマニュアルに従つてケアしようと思つていたら、待たがかりました。注入は「医療行為」なので、教員はできないといわれたのです。高齢のおばあちゃんができるのにです。中原養護に、医療的ケアの必要な子どもたちの就学が増えてきた時期でした。他の医療的ケアの必要な子どもたちの担任も、自分たちでも何とかしたいと考えていました。そんな思いの先生が中心となつて検討会や勉強会を開き、校内での理解を広げ、試行的なケアが学校で始まり、教員でもケアができるようになりました。その時のまーくんの担当医が、理事長の江川先生です。(谷)

★内覧会と開所の集い★

気がつけば、1月も終わりに差しかかつてきました。マーチの建設が順調にすすんでいるのと並行して、入居者の方々とも外出や宿泊など色々な形でふれあい、お互いに少しずつ慣れていっています。さて、今回は3月に予定している内覧会(外部向け)と開所の集いについてのお知らせです。

内覧会(外部向け) 3月3日(木) 10~12時
開所の集い 3月6日(日) 10~12時
場所 ケアホーム「マーチ」

たくさんの方がマーチに関心を持って関わってくれたらと願っています。

来志向。そんな雰囲気になれたいですね。奮つてご参加いただけたらと思います。

ご質問等ありましたら、担当までお気軽にお問ひ合わせ下さい。(石澤)

